

## 特産「あけぼの大豆」普及に奮闘——身延町・小林あゆみさん



収穫した大豆を手にもつ小林さん

現在、あけぼの大豆を栽培しながら、大豆畑で親子体験を行ったり、町内の子ども園で「農育」活動も行っている。小林さんは「農業には人をつなぎ育てる力がある。これからは農業を通して多くの人と関わっていききたい」と語る（二次元コード参照）。

【山梨】身延山久遠寺の門前町・身延町。精進料理の原材料や枝豆として食される特産「あけぼの大豆」に魅了された小林あゆみさんは、地域おこし協力隊の任期満了後も同町に残り、あけぼの大豆の普及に奮闘している。

小林さんが協力隊員として同町に移住したのは2018年4月。新しいことに挑戦したいと、あけぼの大豆の普及をミッションとし3年間活動した。任期中は50アールの畑を借りて栽培し、小学校であけぼの大豆の特長や栽培方法などを伝えるなど精力的に活動。農業の面白さと地域に魅了され、任期満了後も同町に残ることを決意した。

関  
東

NATIONAL  
AGRICULTURAL  
NEWS  
新聞

全国農業

2022年(令和4年)

10月7日 金曜日  
月4回金曜日発行